

## 事業実施に係る動機

事業実施に係る動機としましては、弊社役員の親戚に学習の遅れがあり、塾に通わせたり周りの大人が色々な角度で学習を教えたりしてもなかなかテストの点が上がらないお子様がいました。あまりにもおかしいと感じたため、検査を受けた結果発達障害と診断されました。このようなお子様が近年多いと医師から聞いたので、事業を通じて、困りごとのあるお子様や保護者の方に貢献できればと思ったことが事業をスタートする動機となります。

岡山市内で児童発達支援と、放課後等デイサービスを2020年に開所しました成果ですが、年少児で早期より療育活動を行った結果、社会性が乏しく学習が困難で支援学校を進められていたお子様が、言葉の習得が進み、語彙が増え、自分の困り感や自分の思いが伝えられ、コミュニケーションを取ることがようになってきました。字を覚えることができたことで自己肯定感が増し意欲的な姿が見られるようになりました。その保護者の方は当初自分の養育に問題があったのか、どうすれば良いかを悩んでおられました。その悩みに寄り添い、養育について助言し、具体的な指導方針を共有した結果、保護者の方の不安感が軽減して養育できるようになり、お子様の成長が楽しみになりこの度、学区の小学校に行くことになったとお喜びの言葉を頂きました。

また、小学5年生で支援級でも学習についていけず、1年生で習う繰り上がりの足し算や引き算が理解できなかったお子様が、そのお子様の特性を考慮した学習支援をすることにより、自分から進んで計算できるようになりました。そればかりでなく、計量カップを使い、計って料理をしたり、デザイン画を製作したり、意欲的に色々なことに挑戦をしていくような変化が見られ保護者の方も目を見張るほどの成長が感じられるとおっしゃられました。このように、知的、ADHD、ASD等の症状や特性のあるお子様も、適切な支援を受けることで、苦手感や抵抗感があっても学習が進み、学習の定着、情緒の安定が見られ、社会性の困難が緩和され、意欲や自己肯定感が増すことが確認できています。

昨今のコロナ禍、社会情勢や環境の悪化は、増々子どもの発育や子どもを育てる保護者の方に過酷さを増し、定型発達の子どもであっても自粛生活による人間関係の希薄化、行動の制限、マスク装着により人の表情を読み取れずミラーニューロンの刺激が少なく、発達遅延を招く恐れもあるのではないかと危惧されています。

そのような状況の中では、障害や特性のあるお子様に早期に適切な療育を開始することは、そのお子様の将来に大きな成果をもたらすことが出来ると確信できます。

岡山市内に開設した事業所では開所後半年で利用者のキャンセル待ちの状況になっており、まだまだ社会的困難な状況を感じられているお子様や保護者の方が多いということであり、そのような方に対して一人でも多くの方に支援が行き届き、お子様や保護者の方の笑顔が見られすべての人が生きやすい社会の実現を目指すために、新事業所の開所に至りました。